

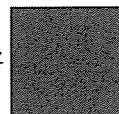
様式第1号（第2条関係）

令和 7年 9月30日

恵那市長

小坂 喬 峰 様
(恵那市議会議長経由)

恵那市議会議員 西 尾 努



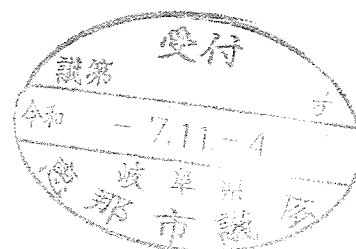
交 付 請 求 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求します。

記

政務活動費請求金額 54,710 円

但し、令和 7年 4月分 ～ 令和 7年 9月分



令和 7年 9月30日

恵那市議会議長

鵜飼 伸 幸 様

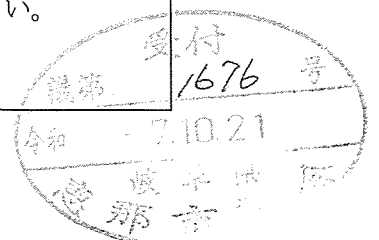
恵那市議会議員 西 尾 努

研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和 7年 5月12日 ～ 令和 7 年5月14日
- 2 研修視察先
 - 1日目：静岡県島田市 株式会社東海汽缶
 - 〃 大井川鐵道株式会社
 - 2日目：山梨県北杜市 三代校舎ふれあいの里
 - 長野県飯綱町 いいづなコネクト EAST
 - 3日目：長野県長野市 戸隠地質化石博物館
 - 長野県飯綱町 いいづなコネクト WEST
- 3 研修視察名
新政会議員を中心とした有志議員による行政視察
- 4 研修視察者
千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾努、太田敦之、林貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人（12名）
- 5 概 要
 - 1日目：SLの動態化事業を展開している企業の取組みを視察
 - 2日目：各地にある廃校活用の地域性や運用状況などを視察
 - 3日目：各地にある廃校活用の地域性や運用状況などを視察
- 6 効 果
別添の恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書を参照ください。



令和 7 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 西 尾 努

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 1 2 日 1 0 時 3 0 分 ～ 1 2 時 0 0 分
3. 会 場	株式会社東海汽缶（蒸気機関車整備工場）
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容（目的）	恵那市では S L 復元の取り組みの動きがあり、イニシャルコストとしてボイラー整備や車両整備が必要となるため、長年 S L の動態化（蘇らせる）事業を展開している企業の取り組み状況などを現地視察した。
7. 効 果	S L のボイラー整備には、鉄板腐食箇所変更や大小煙管更換など様々な作業が必要で、最短でも 1 年半から 2 年の整備期間が必要。整備士養成は、全検査レベルの習得には最短 3 年の期間を要するが、熱意だけではなく本人の知識習得と実践で生かす積極性を兼ね備えた者でなければ勤まらない。なお、日常の整備レベル習得には最短で 2 か月だが、まずは蒸気機関車の構造を確実に知識として習得してからがスタートで 1 年間の養成期間を要する。機関士は、国家試験（年 2 回）の筆記試験と実技試験で合格する必要がある。機関士助手は、厚生労働省の筆記試験に合格して、2 年以上のボイラー取扱業務がなければ免許が取得できない。イニシャルコストは、必要となる集塵機選択や石炭灰落とし、水質などコストを抑える方法もあり、ランニングコストも燃料の選択と使用方、運転方の工夫などでコストを抑えることもできる。実際に S L 整備から復元するまでに必要な期間は、分解運搬時始まり整備し許認可を受けるまでに 3 年半から 4 年はかかるらしいことなど、さまざまな貴重な説明と整備工場見学もでき、大変参考になった。

様式第 1 号(手引き第 3 章関係)

令和 7 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 西 尾 努

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 1 2 日 1 3 時 0 0 分 ～ 1 4 時 3 0 分
3. 会 場	大井川鐵道株式会社（新金谷駅など）
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容（目的）	S L 関連施設として鉄道車両を運用可能な状態で整備・保存（動態保存）して、S L をほぼ毎日運行している施設や設備を見学
7. 効 果	大井川鐵道では、新金谷駅で実際に運行されている S L の整備を担当している整備士から話を聞く機会もいただき、同じ車両形式でも部品が同じではなく、部品を外注しても一つ一つ手作りで仕上げることや自分たちで製作することなど整備現場で整備の困難さなどを視察することができた。 また、国の登録有形文化財となっている新金谷駅の駅舎内に展示してある古い S L や駅舎なども見学することができた。

令和 7年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 西 尾 努

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7年 5月13日 10時00分 ～ 13時00分
3. 会 場	山梨県北杜市 三代校舎ふれあいの里
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となった明治・大正・昭和の三つの時代に建設された校舎を再利用している取り組みなどを現地視察。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	山梨県北杜市の三代校舎ふれあいの里では、明治・大正・昭和の3つの時代に建設された校舎の活用事例を市職員から説明を受け、 明治校舎と大正校舎は、小学校の廃校で、昭和校舎は中学校の廃校であり、明治校舎は、山梨県指定文化財でハイカラな外観と木造が特徴の歴史資料館となっており、懐かしい学校教材に触れて体験ができ、1階はカフェとなっている。大正校舎は、大正館として農業体験施設となっており、ほうとう作りが実施されている。昭和校舎は、総合観光施設おいしい学校として、イタリアンや和食、地元野菜の販売、宿泊施設などが展開されており、廃校を存続と継続するための地元の熱い思いがないと事業として展開するのは難しいと感じた。 また、北杜市でも学校再編に向けた検討が進められているようで、今後の廃校活用が課題であるとのことであった。

様式第 1 号(手引き第 3 章関係)

令和 7 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 西 尾 努

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 13 日 15 時 00 分 ～ 16 時 00 分
3. 会 場	長野県飯綱町 いいづなコネクト EAST
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鶴飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12 人
6. 内容（目的）	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となった廃校となった小学校をリノベーションして作られた施設を見学。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	長野県飯綱町の「いいづなコネクト EAST」を見学。旧小学校を改修した複合施設として、りんごを発呼させて造られるアルコール飲料(シードル)の醸造所 や共有型のオフィススペース(コワーキングスペース)などがあり、しごと創りを促すような施設であると感じられた。

様式第1号(手引き第3章関係)

令和 7年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 西 尾 努

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7年 5月14日 9時00分 ～ 10時00分
3. 会 場	長野県長野市 戸隠地質化石博物館
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となり再利用されている施設を自然史博物館として運用している取り組みなどを現地視察。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	長野市で旧中学校の木造の校舎を利用した戸隠地質化石博物館を視察した。廃校利用のため、通った学びの場所として親しみやすい作りになっており、学びの場としてケース越しの展示だけでなく、さわれる展示も数多く用意されており、標本にさわっての体験学習できるようである。 ここでは、熱心な研究員の人を引き込むような話しに感動し、施設管理には人材確保が重要であると感じた。

様式第 1 号(手引き第 3 章関係)

令和 7 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 西 尾 努

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 1 4 日 1 1 時 0 0 分 ～ 1 3 時 0 0 分
3. 会 場	長野県飯綱町 いいづなコネクト WEST
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鶴飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容（目的）	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となった廃校となった小学校をリノベーションして作られた施設を見学。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	飯綱町の「いいづなコネクト WEST」の視察では、昨日見学した EAST を含めた説明を受け、施設開設に向けた地域住民組織での 2 0 回を超える議論や施設の状況、課題など詳細に話を聞くことができた。 EAST は、食・農・しごと創りをテーマにしたしごとの創業交流施設で、WEST は自然・スポーツ・健康をテーマにした自然体験交流施設となっており、まだ十分に使える思い出の校舎を取り壊すことなく、地域内外の多世代が交流する拠点として再活用されていた。 この施設の運用を任されている「株式会社カンマッセいいづな」は、旧小学校の跡地利用を主の目的に作られた会社で、地域の居場所づくりである食堂やまちの新しい仕事の創出をする自主事業も展開しており、ここでも地域の想いがこもった施設が運用されていると感じられた。

研修視察報告書

研修日：令和 7年 5月12日 ～ 5月14日

- 5月12日 静岡県島田市 株式会社東海汽缶
SL 機関車関係（蒸気機関車整備工事）

静岡県島田市 大井川鐵道
新金谷駅 SL センター（SL 関係）
- 5月13日 山梨県北杜市 三代校舎（おいしい学校等）
津金学校・大正館・おいしい学校（旧小中学校の施設利用）

長野県飯綱町 いいづなコネクト EAST
しごとの創業・交流拠点（旧小学校をしごとの創業交流施設）
- 5月14日 長野県長野市 戸隠地質化石博物館
旧柵小学校を博物館として再利用（旧小学校の施設利用）

長野県飯綱町 いいづなコネクト WEST
体験・滞在型の都市交流等の拠点
（旧小学校を自然健康体験交流施設・レストラン）

株式会社東海汽缶 SL 機関車関係（蒸気機関車整備工事）

代表取締役社長 鈴木 肇 氏

常務取締役 石川 寛之 氏

（一級ボイラー技士・ボイラー整備士・甲種蒸気機関車動力車操縦者）

○ ボイラー整備

- ・ 期間：1. 5年 ～ 2年

ボイラー整備は缶胴と呼ばれるボイラー本体部分の鉄板腐食箇所の更换、大小煙管更换、付属品整備等様々な作業が必要となるが、最も時間を要するのは配管の手配。C 1 2 型蒸気機関車の大煙管 1 6 本、小煙管 6 8 本がボイラーに取り付けられている。特殊な加工を施す必要があるためメーカー注文に約 1 年かかる。

少人数での整備となるため、整備期間が長くなる。

○ 整備士の養成

- ・ 全般検査レベルまでの習得：養成期間 最短 3 年

最終的に必要なのは、熱意のみでは蒸気機関車の整備士にはなれず、事業者が行う教育指導に加え本人の独学による知識習得と実践で活かす積極性を兼ね備えた者でなければならない。出向先で全般検査実施に良いタイミングで最初から立ち会うことが出来たとして、最低 3 年の養成期間を要する。

- ・ 日常行う整備レベルの習得：養成期間 最短 2 ケ月

日常行う軽微な点検整備であれば、鉄道車両の整備業務に携わった経験を持つ者であれば短期間で一通りの作業を行う事が出来るまで養成可能。

○ 乗務員の養成

- ・ 機関士の養成：養成期間 最短 6 ケ月 試験が年 2 回

（甲種蒸気機関車動力車操縦者運転免許）

甲種蒸気機関車動力車操縦者運転免許試験は 1 年に 2 回実施されるが、蒸気機関車の運転免許に関しては試験官としての経験者が運輸局の中でも非常に少なくなっていることから、事前に余裕をもって受験計画等打診すること。

○ 蒸気機関車の整備に必要な施設

- ・ 各装置の政策及び設置：準備期間 最短 2 年

① 集塵装置：集塵・通風装置（燃焼確保・粉塵除去）

@5,000～36,000 千円（コンプレッサーを使うことで安価でできる）

② ピット（車輛下回り点検）

③ アッシュピット（石炭灰落とし）

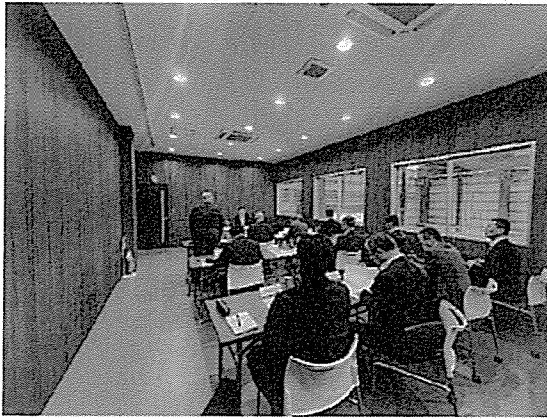
④ 給水塔

⑤ コンベア（石炭積載用）：バケットフォークリフトでの積み込み等

⑥ 水タンク（蒸気機関車搭載用）

⑦ 軟水器（水をアルカリ性に生成）

*今回、㈱東海汽缶の方より説明を受けたが、蒸気機関車の整備・整備士の育成など蒸気機関車を走らせるまでに 3～4 年の年数がかかる。イニシャルコストやランニングコストなど費用面での収入をしっかりと精査する必要がある。また、既存の線路状況の状態によっては修繕費がかかる場合もある。



大井川鐵道株式会社 新金谷駅 SL センター (SL 関係)

代表取締役副社長 柴 田 亘 氏

鐵道部長 坂 本 光 司 氏

鐵道部運營課長 鈴 木 優 氏

- 大正14年3月、大井川鐵道は大井川上流部の電源開發と森林資源の輸送を目的として創立された。昭和6年に金谷～千頭間が全通。それまでのイカダと船、峠越えの馬、徒歩以外に交通手段のなかったこの地域の生活を一変させた。以降、昭和34年には中部電力所有の専用軌道に移管し井川線（南アルプスあぶとライン）の運行を開始。昭和51年には全国でいち早くSLの復活運転を実施し、観光鐵道として全国的な知名度を獲得。
平成26年からアジアで初めての「きかんしゃトーマス号」を運行開始。これまでに培った蒸氣機關車の運行技術と世界的な人気キャラクターによる夢のコラボレーションを実現する。
蒸氣機關車という日本の産業遺産を維持・継承する使命と、また地域の交通手段として、今後も挑戦を続けていく。

○ SLの動態保存とは

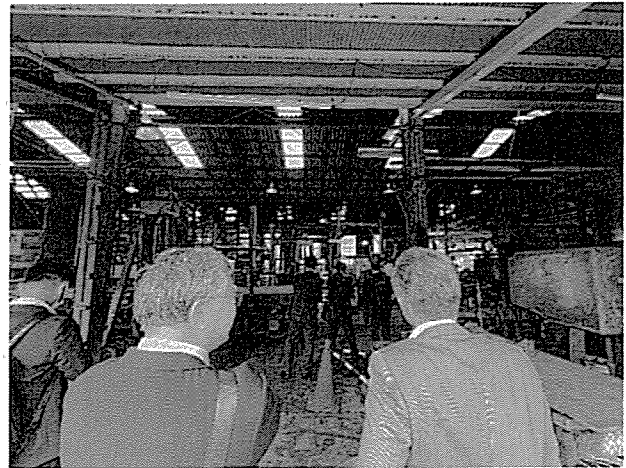
“鐵道の動態保存”とは、技術革新など伴って旧式となり、姿を消すことになった鐵道車両を、運用可能な状態で整備・保存する事をいいます。

全国の鐵道から一旦姿を消した蒸氣機關車(SL)を、大井川鐵道では全国に先駆けて動態保存を行ないました。

現在でも4両のSLが日常の運用で使用され、ほぼ毎日運行を行ない活躍を続けています。

- *何年か前に見学をさせて頂いたときは、「きかんしゃトーマス号」が大盛況で人の入りも多かった時期であり、夢を乗せる蒸氣機關車だと思った。また、展示ケースなども増えており少しではあるが変化があった。





三代校舎（おいしい学校等）

津金学校・大正館・おいしい学校（旧小中学校の施設利用）

北杜市役所産業観光部商工・食農課長 篠原 賢 氏

北杜市役所教育部学術課長 村松 佳幸 氏

○ 三代校舎

三代校舎ふれあいの里は、近代西洋風木造建築の明治校舎・大正校舎・昭和校舎の3校舎です。この場所に建てられていた津金学校は明治8年に設立され、昭和60年に閉校になりました。ここには平成9年3月まで明治・大正・昭和の三世代3つの校舎が同一敷地内に建てられていましたが、大正校舎は平成10年5月に新しく農業体験施設『大正館』として新築復元されました。外観は昔の校舎のままになっています。

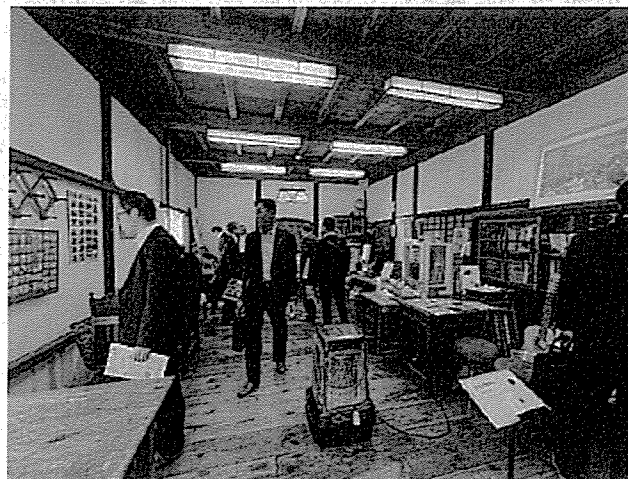
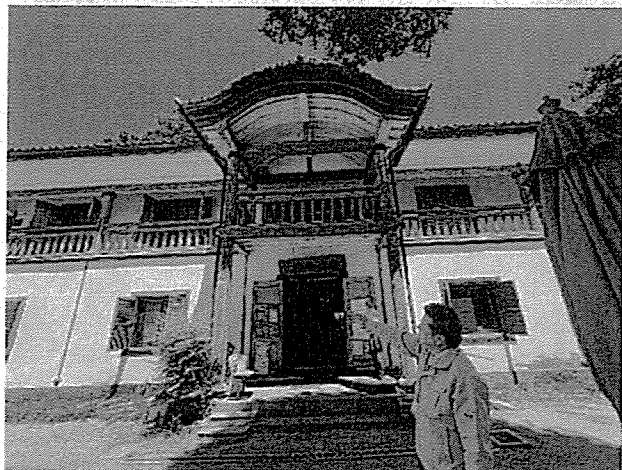
一方、昭和校舎は、津金中学校として昭和28年に建てられました。昭和校舎は平成11年3月に建てかえのため取り壊しとなり、平成12年5月にレストラン・ハーブ湯施設を備えた『おいしい学校』としてオープンしました。昔の校舎の面影はなくなりましたが、新しい施設として人気を集めています。

春になると、懐かしさを覚える学校の庭にソメイヨシノが約30本、近隣の自然豊かな風景とともにその花びらを散らしています。

- 津金学校 : NPO 法人が指定管理を受けている。
指定管理料 約6,000千円
県指定の為に改修が思うようにできない。
- 大正館 : 地元の住民が協議会を構成して指定管理を受けている。
指定管理料 約3,600千円
現在では「ほうとう作り」のみの体験となっている。
- おいしい学校 : 株式会社おいしい学校が指定管理を受けている。
指定管理料 約5,000千円
年間利用者数 45,000人（宿泊者は約13,000人）
年間の売り上げ 約90,000千円

*文科系の施設であるならば指定管理料が発生してもいいように思えるが、おいしい学校のように

な物を販売して収益を上げているような施設では指定管理料が発生するのはどうかと考える。恵那市においても色々あるように思えるが、見直しをする必要があると思う。また、現在の中学校の統合（8校を2校）もあるそうで、更に施設の維持について問題が生じそうに思える。



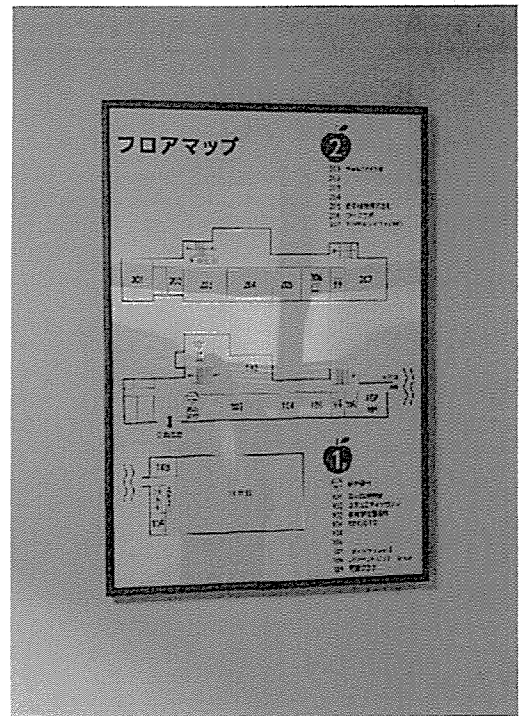
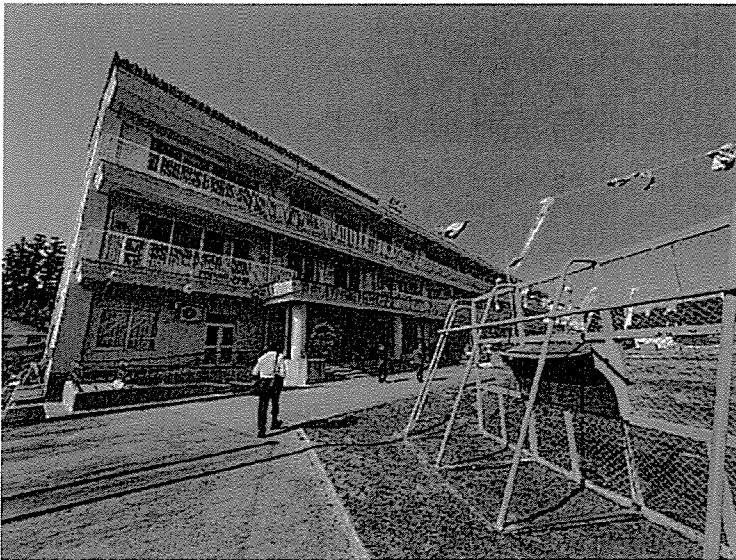
長野県飯綱町 いいづなコネクト EAST

しごとの創業・交流拠点（旧小学校をしごとの創業交流施設）

- いいづなコネクト EAST は、閉校した旧三水第二小学校を再活用した複合施設で、さまざまなテナントが入居して、食・農・しごと創りをテーマに地域とのつながりをつくっている。各教室は、まちの特産であるリンゴを活用したシードル工場「林檎学校醸造所」、リンゴや季節の食材のタルトが好評の「泉が丘喫茶室」、しごと創出のきっかけの場となる「ツクリバ」として再活用している。子どもの学び舎だった学校がその役割を変え、人びとの交流の場になっている。

プールはスケボーパークへと変更されている。

*教室をリノベーションして、貸しテナントとして利用することはびっくりした。サテライトオフィスの考えは恵那市でも行っていて検討する価値は十分にあると考える。



長野県長野市 戸隠地質化石博物館

研究員長 田 辺 智 隆 氏

旧柵小学校を博物館として再利用（旧小学校の施設利用）

- 博物館は1981年に木造2階建ての旧柵中学校の校舎を利用し戸隠村郷土資料館として作られた。1987年のシンシュウゾウの下顎化石（長野県天然記念物）の発見を機に戸隠地質化石館に改名し、2006年には長野市と戸隠村の市町村合併により長野市立博物館の分館となる。2008年同じ自然史系の茶臼山自然史館と統合し、旧柵小学校の鉄筋コンクリート3館建ての校舎に引っ越し戸隠地質化石博物館となる。

大きな建物への移動に伴い長野盆地の形成史や里山の自然等の展示が加わり、長野県を代表する自然史博物館へと変更する。廃校を利用したため 誰もが通った学びの場所として 親しみやすい作りとなっている。

年間の利用者 約10,000人、合併特例債200,000千円にて改修

3F 常設展示フロア

館内をすみずみまで見れるようにシャワー効果を期待して、あえて3Fを常設展示にした。そのため 学校時代にはなかったエレベーターを設置。

2F ミドルヤード

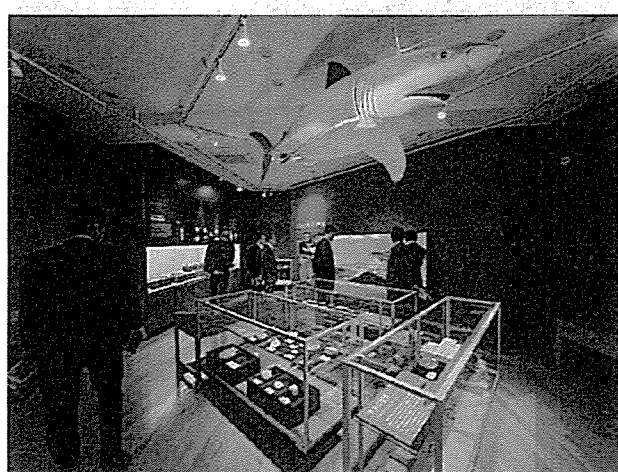
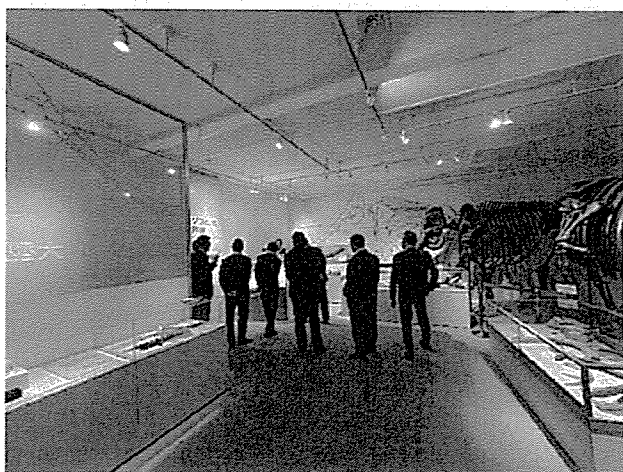
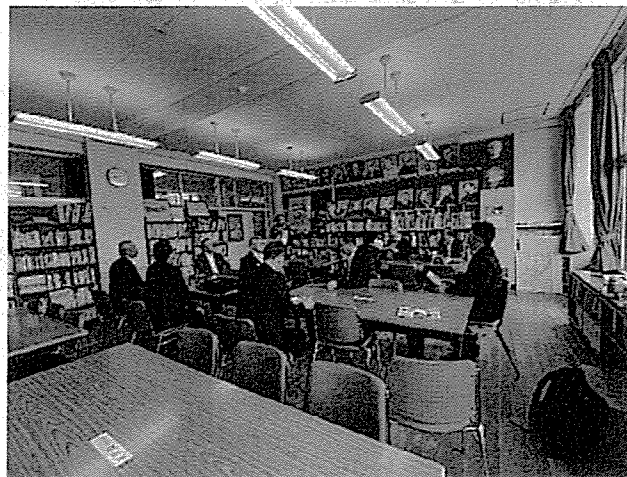
いわゆる常設展示はフロントヤード、収蔵室はバックヤードと呼ばれ、その中間的な場所（ミドルヤード）を増やすことでモノとヒトを近づけモノの魅力をより伝えられるよう工夫している。

1F 人が集う場所

学校らしさを残すことでより親しみやすい博物館を目指している。また、雑多に様々なものを展示することで誰もが何かしら気になるものを見つけることができる。

*申し訳ないことで、少し馬鹿にした感じで見学をしたが本当に大反省をした。

展示内容・展示物・研究員 田辺さんの説明（程よく笑いを誘う話術）にビックリ、3階を常設展示とする事や、エレベータの扉の色も階によって違いがある。改めて見学に行きたいと思える博物館である。



株式会社カンマッセおおづな いいづなコネクト WEST

いいづなコネクト校長 加藤 貴彰 氏

飯綱町役場 企画課地域振興課

係長 原田 大 氏

しごとの創業・交流拠点（旧小学校をしごとの創業交流施設）

○ いいづなコネクト WEST は、閉校した旧牟礼西小学校を再活用した自然・スポーツ・健康がテーマの自然体験交流施設。正門を入った右手には、大きなトチノキがその枝を広げています。シンボルカラーはブルーグリーン。かつての校長室は誰でも自由に利用できる「コミュニティラウンジ」に、保健室は「とちのきランドリー」として活用し、職員室はラーメン店「とちのき食堂」となって賑わっている。校庭は、飯綱町サッカー場「いいづなパルセイロフィールド」にリニューアル。「とちのきの宿」では5～40人の宿泊ができる。「とちのきキッチン」で自炊も可能。指定管理料は21,000千円で、各種施設利用者は年々微増であるが、飲食関係が減数となっている。

*やはり収益が伴う指定管理であり、収支内容を精査することで少しでも21,000千円を下げるのが望ましいと考える。恵那市においても恵南地区の中学校利用に際し十分な検討が必要と考える。



令和7年4月16日

恵那市議会議長
鵜飼 伸幸 様

恵那市議会議員 西尾 努

研修・視察等届出書

恵那市議会政務活動費運用の手引きの規定により、研修・視察等届出書を提出します。

記

日 程	令和7年5月12日(月) ～ 令和7年5月14日(水)			
出張者	渡辺 武彦 伊藤 勝彦 鵜飼 伸幸	林 貴光 柘植 孝彦 後藤 康司	太田 敦之 西尾 努 町野 道明	服部 紀史 千藤 安雄 高橋 隼人
用務地	①	5/12	静岡県島田市	(株) 東海汽缶
	②	5/13	山梨県北杜市	おいしい学校
	③	5/13	長野県飯綱町	いいづなコネクト EAST
	④	5/14	長野県長野市	戸隠地質化石博物館
	⑤	5/14	長野県飯綱町	いいづなコネクト WEST
用務内容	(行政視察テーマ) SL蒸気機関車事業と廃校活用事例について			
	(趣旨) 長年SLの動態化(蘇らせる)する事業をおこなっている企業の取り組みについて調査、研究する。 全国各地にある廃校について、それぞれの地域性や特色などや運用状況などを調査、研究する。			
	(視察目的および恵那市の現状) 恵那市のSL復元の取り組みにかかる想定費用のうち、イニシャルコストとしてボイラー整備や車両整備が必要となる。今回の視察では、SLの動態化に取り組んでいる企業を視察し、恵那市における課題解決につなげる。 恵那南中学校の統合により閉校となる校舎の活用方法を模索している中、全国には様々な取り組みで廃校となった校舎を再利用している自治体も多い。明治、大正、昭和と三つの時代に建設された校舎の活用や博物館、グランピングなどの観光施設、ビジネスのためのサテライトオフィスなどへの転換など多様な活用事例を学ぶ。			

53
令和7年4月16日
恵那市議会

様式第2号（第2条関係）

令和 7年 9月30日

恵那市議会議長
鵜飼 伸 幸 様

恵那市議会議員 西 尾 努

収 支 報 告 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和7年4月分～令和7年9月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

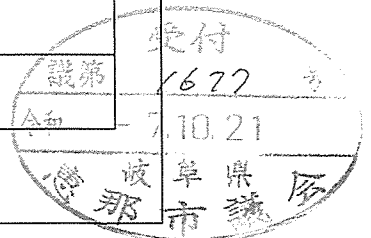
1 収 入

政務活動費 54,710 円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	54,710	視察費等
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	54,710	



様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和7年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	1	議員名	西 尾 努
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち12人で割った金額を計上 (242,280円÷12人=20,190円) (端数切捨て)		
	(按分率) 100%		(政務活動費充当額) 20,190円
領収書の補足説明	5月12日～5月14日行政視察における宿泊代		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

支 出 伝 票

金額 7,110円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7年 9月30日

恵那市議会議員 西 尾 努

1 支 出 先 静岡市葵区昭和町4-5
アパホテル静岡駅北

2 支出年月日 令和 7年 5月28日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の使途 宿泊代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者12名分の領収書を代表者（太田敦之）が受領しているため

支 出 伝 票

金額 12,780 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7 年 9 月 3 0 日

恵那市議会議員 西 尾 努

1 支 出 先 長野県長野市間卸所町 1 2 2 1
ホテル J A L シティ長野

2 支出年月日 令和 7 年 5 月 2 8 日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の使途 宿泊代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者 1 2 名分の領収書を代表者（太田敦之）が受領しているため

支 出 伝 票

金額 3 0 0 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和7年9月30日

恵那市議会議員 西尾 努

- 1 支 出 先 岐阜県中津川市蛭川5328
株式会社ごとう観光
- 2 支出年月日 令和7年5月28日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 5月12日～14日 旅行保険料

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者の保険料12名分とホテル宿泊代金が合算された領収書を、代表者（太田敦之）が受領しているため。

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和7年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	2	議員 名	西 尾 努
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち12人で割った金額を計上 (414,250円÷12人=34,520円) (端数切捨て)		
	(按分率) 100%		(政務活動費充当額) 34,520円
領収書の補足説明	5月12日～14日行政視察におけるバス代 (貸し切りバス代、高速料金、乗務員宿泊代)		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

支 出 伝 票

金額 34,520円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7年 9月30日

恵那市議会議員 西 尾

1 支 出 先 岐阜県中津川市蛭川5328
株式会社 ごとう観光

2 支出年月日 令和 7年 5月28日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の使途 5月12日～14日バス代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者12名分の領収書を代表者（太田敦之）が受領しているため

様式第3号(手引き第4章関係)

令和7年度 恵那市議会政務活動費会計帳簿

議員名 西 尾 努

(令和 7年 4月 1日 から 令和 7年 9月30日 まで)

単位 (円)

日付		整理 番号	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充当額	支出可能額 (残)
				政務活動費半期 分 (予定)			60,000
5	28	1	調査研究費	5/12, 5/13 宿泊費	20,190	20,190	39,810
5	28	2	〃	5/12～5/14 バス代金	34,520	34,520	5,290
合計					54,710	54,710	5,290